

荒れた里山林を整備し生活環境及び自然景観を取り戻した事例

事業名 里山林整備事業(環境改善型)

市町名 熊野町

取組のきっかけ・経緯

・手入れが不十分なことで、景観が悪化しているだけでなく、倒木の危険が増していたことや野生生物が人里近くまで活動域を広げる要因となっていた。

今後の展開

・定期的に地域住民が主体となって下刈り等を行うために森林整備や機材の使用のための講習会を実施するなど意識醸成に向けた取組を展開していく必要がある。

取組の内容

- ・事業主体：熊野町
- ・実施場所：呉地地区 外2箇所
- ・業務委託先：森林組合等
- ・業務量：0.26ha
- ・業務金額：3,416,000円
- ・業務期間：令和5年11月～令和6年3月

取組後の感想

【良かった点】

- ・景観が向上した。
- ・野生生物の隠れ場となり得た状況が解消された。
- ・遊歩道を整備することで安心・安全に散策が可能となり森林と触れ合う機会の増加に寄与できた。

【悪かった点】

- ・行政主体の実施事業のため地域で森林を保全するという意識には結びつかなかった。



【整備前】



【整備後】

